

発明の名称

操作検出システム及び操作検出方法

～ユーザが視線を向けるだけで機器を非接触で操作できる技術～

発明者

酒井 大輔（北見工業大学）

技術概要

空中に浮かぶ空中像を生成する空中像生成装置10と、空中像と重なる位置で周期的に点滅する光を放射してユーザの眼に光刺激を加える光刺激印加装置20と、ユーザの視覚野の脳波を計測する脳波計30と、脳波計30で計測された脳波の周波数成分からSSVEP（光刺激を眼に加えたときに大脳皮質の視野角に生じる視覚誘発電位）が検出された場合に操作信号を出力する操作検出装置40を備えた操作検出システム1により、ユーザは視線を向けるだけで外部機器を非接触で操作できます。また、光刺激を見続けることによる疲労やストレスも低減できるように構成されます。

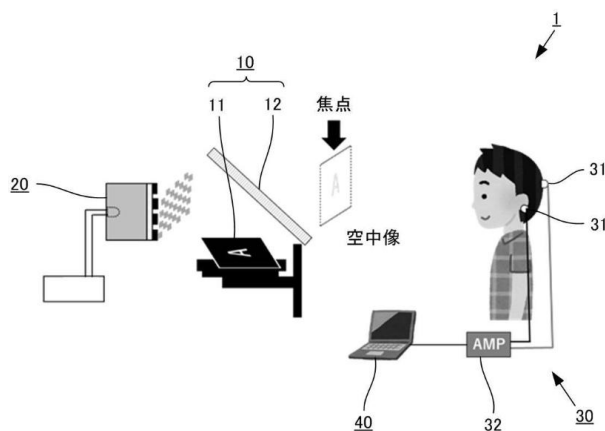
発明の目的

空中に浮かんで見える空中像を非接触で操作可能な技術において、ユーザの手指を移動させるジェスチャー操作では意図した通りの操作が困難である、という課題を解決するための発明です。

効果

ユーザが空中像に一定時間継続して視線を向けるだけで、ユーザの操作を検出でき、操作検出システムに接続された外部機器を非接触で操作できます。ユーザのジェスチャー操作が不要なため、肢体不自由者であっても容易に操作できます。

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2020/12/23	2024/09/30	2040/12/23